

Sow the Seeds of Love

慈愛の種を
播きましょう

2002-2003年度 国際ロータリーのテーマ

RIテーマ

Weekly Report



クラブ会長テーマ

和楽、そして慈愛の種を播こう!

2002-9-4 第573回例会 NO. 13-9 2002-9-11 発行

◎司会 SAA委員会 小泉 博

◎点鐘 会長 小坂 一郎

◎国歌斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 吉沢 洋景◎お客様紹介 会長 小坂 一郎
・東京八王子北RC 鈴木 秀男 様

・欠席者：遠藤 二郎、藤原 正範、福島 達也、
桧垣 昭、伊澤ケイ子、佐伯 和廣、
高野 範城

・補填MU：遠藤 二郎 8/28 理事会
阿部 華歌 9/3 東京多摩RC
菊池 敏 9/3 東京多摩RC

8/21 最終訂正出席率 85.37%

◎会務報告 会長 小坂 一郎

8月28日第4回理事会決定事項についてお伝えします。

①関戸橋花火大会見物の決算について承認致しました。

②今年度特別事案について検討。9月25日までにタタキ台を作ることとなりました。

③ガバナー補佐訪問(10月23日)のクラブ協議会のテーマについて検討し、協議会テーマを特別事業と決定致しました。

④新規カラープリンターについて、ゼロックスカラープリンターをリース契約にて導入することに決定致しました。

⑤本日3クラブ合同のガバナー公式訪問打合せを行います。

⑥田中会員よりニコニコで事務局にキャビネットを頂き設置致しました。

◎幹事報告 幹事 平野 行廣

①8月6日関戸橋花火大会の決算報告を配布しています。

②多摩市主催「TAMA・デ・アート2003」の公募要項を回覧します。

③山岡 聖子さんよりレポートが届きました。各テーブルにコピーが置いてありますのでお読み下さい。

【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 赤尾 恭雄

・会員総数 42名
・出席義務者数 41名(出席免除者3名)
・出席者数 34名
・欠席者数 7名(事前MU1名)
・出席率 85.37%

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 由井 真司

小坂 一郎 お蔭様で2ヶ月すぎました。

平野 行廣 田中会員、卓話宜しくお願ひします。

小林 正 今日Jリーグの『ガンバ大阪』の選手が「たまつばき」を使っており例会会場変更すみません。

北村 幸彦 長野県知事選、田中さん(田中 實さんではありません)が再選されました。これからは楽しみです。

杉野志保子 いい人が見つかった!(アルバイトの女の子ですが・・・)

萩生田茂夫 北村さん、この間は有難う御座いました。
村上 久 まだまだ暑いですネ。田中さん、卓話頑張ってください。

津守 弘範 田中さん、卓話楽しみにしております。

赤尾 恭雄 家内が今日から3週間、一時退院になります。但し、今月25日再入院が条件です。

杉山 英巳 田中 實様、卓話を楽しみにしています。

伊藤 英也 田中さん、いつも面白い卓話、楽しみにしております。

阿部 華歌 運動不足なので早朝に1時間ほどお散歩。多摩川のせせらぎが最高でした。びっくりした事は、牛井屋さんが朝食をとる若者達でいっぱいなこと。

大松 誠二 田中さん、楽しみです。

高木 淳光 局長会のソフトボール大会で優勝してしまいました。10月に名古屋ドームで全国大会です。

小泉 博 お客様ま、ようこそ。田中さん、卓話よろしくおねがいます。

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】小坂一郎 【幹事】平野行廣 【委員長】藤原正範 【副委員長】杉野志保子

【委員】阿部華歌・赤尾恭雄・藤本吉文・小林正・関岡俊二・吉沢洋景・正房正孝

本日の合計 ￥20,000 (累計￥275,016)

先週の合計 ￥30,000 (累計￥255,016)

◎その他の報告

・親睦活動委員会 親睦活動委員長 海野 榮一
いよいよ明日(9/5)野球大会でございます。当クラブは強豪を揃えて、調布むらさきRCと対戦しますが、いささか弱気で臨みます。なお、野球の後で「暑気払い・飲み会」を計画しておりますので多摩牧場の白木屋にご集合下さい。楽しい野球、楽しいコンパ、ふるってご参加ください。



野球部メンバーとサポーター

サポーターの皆さん、応援ありがとうございました。

◎卓話 「戦後の経済の混乱」

田中 實

このタイトルを付けたのは、戦後の貨幣価値の変動に翻弄され、ひどい目にあったが、その時代の流れが頑張り

の原動力となったからです。
【終戦そして引揚げ】終戦後捕虜生活8ヶ月の後、昭和20年4月18日内地帰還が決まりました。賀勝橋の收容所から徒歩で武昌まで向かいました。途中、武器・弾薬などを廃棄しながらの強行軍でした。そこから、長江をジャンク船2艘を柱で繋いだ粗末な船で南京に向け下りました。南京から上海へは列車でしたが、これが無蓋貨車で雨が降れば風呂状態、止まれば現地住民から投石と散々な旅でした。集結の邦人と船を待つこと1ヶ月、日本海軍の船にセーラー服と日本人と見まがう韓国船(当時朝鮮)にて帰還の途につきました。

【博多上陸そして東京へ】2~3日の沖合い停泊の後、博多に上陸。日本帰還を果たしましたが、私、中隊長の山本さんや他何人かは帰還兵名簿に載っていないことが分かりました。田中、山本と言う名前は多く、また戦犯容疑者と間違えられると困る為、違う名前登録したようです。捕虜の為番号管理されており届はちゃんとされているはずですが、船員名簿で見るとまだ中国にいる事になりそうです。さて、博多では戦時中の報酬についての説明があり、930円が野戦郵便局に預けられたが捕虜になると同時に中国軍に接收されてしまいました。その代わり417円が支給されましたが300円は帰還船の旅費として取られ、117円だけ残りました。この貰った新円の10円札が日く因縁の経緯がありまして、券面に米国と書かれているとか図柄はMPが菊の紋章を監視しているとかで大変憤慨したものです。

その後のインフレは悲劇的なものでして、これを抑える為新円を発行し、毎月の給料は500円まで、それ以上は預金で封鎖され、下ろす時は新円という具合でした。そ

頃の物価は米1升が53銭でしたが、闇市では132倍の70円でした。ところが我々の方は新円の図柄が面白くないとか使い慣れた金が良いとヤミで旧紙幣に全て替えてしまいました。これが使用可能の証紙が貼ってない使えないお金でして大騒ぎとなったりしました。お金に翻弄され眠れない日々が続きました。



【帰京そして会社設立】東京に帰ってきた頃は物が極端に無い状態ではなかった。では経済活性化の源はといえば、軍の倉庫からの盗品だとか石油などの隠匿物資の放出品等であった訳です。これで大儲けした人もいました。私のほうは亀戸まで青梅を担いで売りに行き、着いた途端に盲腸悪化で即入院、手術を3度もするはめになりました。その後自動車兵だった経験を生かし、立川の米軍JAMA(Japan Air Material Area)に入りました。担当米兵や通訳のいい加減さには泣かされましたが、業務の改善努力が認められ工務部、管理部、更には資材全般を見るようになりました。そしてジャマ工業が作られました。米軍の仕事は軍の直用とする体制に変わった為会社ジャマ精工を設立、再出発しました。ここでは、組立住宅(プレハブ)消防庁向け35ミリ映写機、飛行機からヒット商品「気胸器」「パチンコ玉自販機」など作りましたが設計は優秀なものの製作技術が未熟で、それらからは撤退しました。そして朝鮮戦争の勃発です。そのころも営業、渉外の責任者である外注統括でしたが、多くの工場、下請けを使い、会社としては国会で問題になるぐらいの大きな売上・利益を上げていました。当時は、宿に帰る暇が無い位飲んだり、会社が共産党に取り囲まれたり、また月末には女性が会社に「つけ」の清算に押し寄せたりと多忙と盛況を極めました。しかし戦争特需も終結へと向かいました。

【ガス器具事業への本格参入】その後、ガス器具の商売に入りました。最初は国産の小さいながら優秀な湯沸し器を作る「イカリ」と言う銘柄に出資し日本橋に事務所を作りました。そしてこの製品の特許の関係からドイツ「ユンカース」社製商品の輸入・販売も始めました。但し両立が出来ないことから私達はユンカース主体に移りました。また、その頃から米軍人家族の日本定住が進み、そのガス器具のメンテナンス需要が高まり、会社の中にメンテナンス部門を作りました。この実績を買われ東京ガス全営業所に技術者派遣を行い、長い付き合いとなると共にガス器具が本命となって行きました。

色々申し上げましたが、上がったりが下がりが多い時代を過ごして来ましたし、忙しく家に帰れない事も有り懐かしく思い出します。話途中ではありますが、以上で終わります。

◎点鐘

会長 小坂 一郎

(今週の担当 正房 正孝)